

平成25年度武蔵大学教員免許状更新講習募集要項

<武蔵大学の更新講習>

平成 25 年度は、本学では教員免許状更新講習の「選択」領域の講習のみを行います。中学校、高等学校、中等教育学校の教諭を対象にしています。

<講習の開講日時>

平成 25 年 8 月 5 日(月)～8 月 7 日(水) 9 時～17 時
(受付開始時間:午前 8 時 40 分)〔予定〕

<開講場所>

武蔵大学 7 号館他

<受講申込期間及び申込方法>

申 込 期 間	申 込 方 法
平成 25 年 3 月 16 日(土)～5 月 31 日(金) 消印有効	
① 受付終了後、6 月上旬を目途に「受講料の支払手続き書類」をお送りします。	① ホームページ上の受講申込書をダウンロード、出力し、必要事項を記入の上、身分証明書の写し(顔写真、生年月日の記載がある運転免許証、パスポート等)とともに郵送で提出してください。受講申込書を出力できない方は、郵送しますので、下記のメールまたは、FAX にて請求してください。 E-mail: menkyo@sec.musashi.ac.jp Fax: 03-5984-3871
② 受講料入金を確認の後、「受講票」「シラバス」「当日のご案内」をお送りします。	② 申し込みは、郵送のみの受け付けになります。 <送付先> 〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1 武蔵大学 大学庶務課 教員免許状更新講習係
	③ 先着順にて受け付けを行い、定員になり次第締切ります(定員に達した場合は、お断りすることがありますのでご了承ください)。
	④ 受講受付が済んだ段階で「受講料の支払手続き書類」をお送りします。受講料の受領を確認した後、正式な受講許可とします(指定の期日までに振込が完了しない場合は、受講許可の取り消しとなりますので注意してください)。
	※最少催行人員各コース(5 人)に達しない場合は、開講を取り止めることがありますので、ご了承ください。

<受講対象者>

次の生年月日に該当する現職教員及び受講対象証明書を用意できる者

昭和 33 年 4 月 2 日～昭和 35 年 4 月 1 日

昭和 43 年 4 月 2 日～昭和 45 年 4 月 1 日

昭和 53 年 4 月 2 日～昭和 55 年 4 月 1 日

※ 最初の修了確認期限は、「35 歳」、「45 歳」、「55 歳」になる年度末です。

<受講料>

1コース(6 時間)あたり 6,000 円(教材費等含む)

<募集人数>

A コース、B コース:各コース 20 人

C コース:各コース 40 人

(最少催行人員各コース 5 人)

<講習(選択領域)の内容>

コース コード 教科	講習の名称・講師	講習の概要
A-1 国語科	<u>8月5日(月)</u> 「参加型で学ぶ実践的な言語活動の指導」 武田 信子(本学人文学部教授) 佐藤 広子(目白大学外国語学部准教授)	主体的な学び手を育てる指導方法や授業改善、そして校内研究に活かせる省察の方法を国語教育と教師教育の専門家から実践的に学びます。特に、OECD がこれからのグローバル社会に生きる地球人の力として挙げています 3 つのカー①自律的に行動する能力②社会的な異質の集団における交流能力③社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力カーをつけるための国語の授業の進め方を具体的に学びます。
A-2 社会科	<u>8月5日(月)</u> 「中等社会科一学習指導のコツ」 和井田 清司(本学人文学部教授) 二谷 貞夫(上越教育大学名誉教授) 鳥塚 義和(本学非常勤講師) 田中 祐児(本学非常勤講師)	中等教育段階で、市民育成の視点から社会科(公民科・地歴科)の在り方を探究します。前半は世界や日本の今日的状況に照らして社会科教育の課題を再定義し、後半は地歴・公民の各分野での具体的な実践に即しつつ授業づくりのコツや工夫を紹介する予定です。参加者間の交流やディスカッションも加え、社会科実践のエンパワーをはかります。
A-3 英語科	<u>8月5日(月)</u> 「英文速読と音読・シャドーイング指導のノウハウ」 湯舟 英一(東洋大学総合情報学部教授)	教室での指導にすぐにでも役立つ、リーディング指導のノウハウとリスニング基礎力のトレーニング法を紹介します。前半では、読解力育成の効果的な指導法として、スピードを意識しながら英文をかたまりごとに順次イメージするチャンクリーディングと、読解スピード向上のための音読、さらに CALL 教室でのシャドーイング指導を、演習を交えながら紹介し、後半では、英語音声変化を大量に含む TOEIC 問題のスクリプトを利用した Web 教材による繰り返し音読訓練を通して英語聴力の向上を目指します。
A-4 商業科	<u>8月5日(月)</u> 「「情報処理」・「ビジネス実務」の指導法」 高橋 則雄(本学客員教授) 荻野 欣男(本学非常勤講師)	平成 25 年度入学生から年次進行により実施される高等学校新学習指導要領における教科「商業」の改訂のねらいを踏まえて、前半では、商業教育における情報処理教育の在り方について考察し、後半では、新設科目「ビジネス実務」の(3)ビジネス英語に焦点を絞り、その内容の構成および取扱いについて学習します。この講習を通じて、参加者間の交流や情報交換を図りたい。

B-1 国語科	<p><u>8月6日(火)</u> 「国際化社会における日本の言語・文化」</p> <p>大野 淳一(本学人文学部教授) 小川 栄一(本学人文学部教授)</p>	<p>わが国は歴史上外来文化を積極的に受容しつつ独自の文化を育んできました。夏目漱石は西欧文明との衝突に真剣に向き合った作家で、漱石「現代日本の開化」等の国語教材は文化交流の観点から再評価できます。また、論理的な表現は海外への情報発信においても重要であります。コミュニケーションの理論により国語教材の文章を分析し、論理的表現の指導に役立てます。本講座では上記の観点に立って教材の読解と教員指導力の向上を目的とします。</p>
B-2 社会科	<p><u>8月6日(火)</u> 「社会科で取り扱うメディア・リテラシー」</p> <p>中橋 雄(本学社会学部教授) 佐和 伸明(千葉県柏市教育研究所指導主事)</p>	<p>本講座では、社会科公民分野におけるメディア・リテラシーに関する学習内容の取り扱いを検討します。社会科には、教科の学習内容としてメディアについて学ぶ機会があります。例えば、政治とメディア、人権とメディア、ジェンダーとメディア、情報社会とメディアなどについてであります。こうした内容とメディア・リテラシーの関わりについて学習者の理解を深めるために、言語活動や実習の要素を取り入れた実践のあり方を考えたい。</p>
B-3 英語科	<p><u>8月6日(火)</u> 「コミュニケーション能力育成と読解教材」</p> <p>高橋 和子(本学非常勤講師、東京女子大学非常勤講師)</p>	<p>コミュニケーション能力育成に主眼を置く英語教育において、読解教材はどのように活用したらよいのか、理論と実践両面から考察することが本講習のおもな内容であります。具体的には、コミュニケーション能力とはどのような能力なのかを理論に基づいて解釈することからはじめて、リーディングとはどのような技能なのかをとらえ直します。その上で、実際に教材を用いながら、読解教材のジャンルの違いを考慮した授業展開を考えていきます。講義と演習（受講者同士が意見を交換するグループ活動）両方を取り入れた形式で行う予定です。</p>
B-4 商業科	<p><u>8月6日(火)</u> 「企業会計の役割と最近の動向」</p> <p>荒田 映子(本学経済学部教授) 目時 壮浩(本学経済学部准教授) 山田 純平(明治学院大学経済学部准教授)</p>	<p>簿記、会計システムにより生成される会計情報の在り方は、情報作成主体である企業および利用主体(企業自身、投資家、規制機関等々)の環境変化に伴い大きく変化します。この講習では、財務会計(制度会計)、管理会計の観点から、会計情報とその利用に関する最近の動向や問題点を、研究成果をまじえながら解説します。一部の授業ではゼミの形態をとり、ディスカッションも行う予定です。</p>
C-1	<p><u>8月7日(水)</u> 「生態学から見た地球環境問題と現代社会における核エネルギー」</p> <p>丸橋 珠樹(本学人文学部教授) 薬袋 佳孝(本学人文学部教授)</p>	<p>産業経済と科学技術の進展は物質的に豊かな現代生活を実現してきた。しかし、その結果として人類がこれまでに経験したことのない新たな社会問題としての地球環境問題に直面することとなった。本講習では、状況の変化が著しい地球環境問題の広がりを紹介することによって、直接的には環境教育に対して、間接的には教科教育等におけるバックボーンとして本講習の学びを役立てていただきたいと考えている。エネルギー問題、食糧問題など現代社会の諸問題との関係も含め、より深い理解に到達することを目的とする。</p>

C-2	<p>8月7日(水) 「ヨーロッパ文化の伝統と現在」</p> <p>平林 和幸(本学人文学部教授) 光野 正幸(本学人文学部教授) 香川 檀(本学人文学部教授)</p>	<p>グローバル化が進む現代社会において、学校教員が最新の世界情勢を踏まえて、文化や歴史を幅広く奥深くとらえる力を養い、日々の教科指導や生徒指導に役立てることが求められている。本講座では、欧州の文化、美術、音楽に関する最新の研究を切り口とし、学問的に深く掘り下げる体験を通して、教員が生徒たちのインターナショナルに広がる興味・関心に応えうる力の獲得を目指し、その力を日々の教育活動に生かす工夫を考える。</p>
-----	---	---

※今後、講義内容等は、一部変更になることがあります。その際は、逐次ホームページにてお知らせいたします。

<修了試験について>

各日の最終時限に修了認定試験を実施します。試験の内容と方法は、後日送付するシラバスでお知らせします。

<お問い合わせ先>

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上 1-26-1
武蔵大学 大学庶務課 教員免許状更新講習係
E-mail: menkyo@sec.musashi.ac.jp
TEL : 03-5984-3713 FAX : 03-5984-3871
URL : <http://www.musashi.ac.jp/>

<武蔵大学までの案内地図と交通>

大学ホームページをご参照ください。

http://www.musashi.ac.jp/modules/annai_kouhou/index.php?content_id=9